

◆ ケアマネジャーのための情報誌 ◆

# ケアマネ SAPPORO

2007.2.1 発行

発行

札幌市介護支援専門員連絡協議会

事務局

札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部

札幌市中央区大通西19丁目

札幌市社会福祉総合センター内

TEL 011-612-6110

FAX 011-613-5486

第44号

## 認知症ケアへのご理解を

特別養護老人ホーム厚別栄和荘 施設長 瀬戸 雅嗣

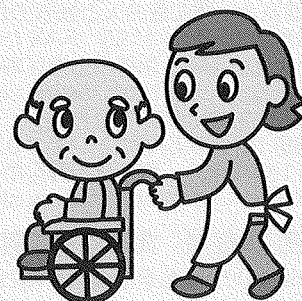
から約2年前の平成16年12月24日、厚生労働省はそれまでの「痴呆」という用語を「認知症」に改めた。「痴呆」という用語は侮蔑的で高齢者の尊厳を欠く表現であることや病気としての実態を表していないことで早期発見・早期診断の妨げになり、認知症対策の取り組みへの障害となっているのではないかという指摘があり、用語の変更になったものである。厚生労働省はこれを契機に「認知症を知り地域をつくる10年」のキャンペーンを開始し「認知症サポーター100万人キャラバン」等を行っているのはご存知のことと思う。

介護支援専門員の皆さんは介護に関するベテランであり、認知症についても一定の知識と経験をお持ちであることを理解しているが、ある研修会でちょっと気になったシーンがあったので、今回、この巻頭言の機会に、いただいたのを好機に少しだけ認知症のことを書かせていただくことにした。気になったシーンとはベテラン介護支援専門員を対象とした研修会(札幌ではない)での一コマで、グループ学習で各自が持ち寄ったケアプランの検討をしている場面であった。そのケアプランは認知症利用者の事例であったが、その検討をしている中、一人のメンバーから「この方の中核症状としての暴力行為はやっぱり問題行動だよ」という発言があった。ファシリテーターをしていた私はその発言に反応しかけたが、グループ学習の趣旨とは外れてしまうので、その発言には触れなかったが、その介護支援専門員さんの顔をまじまじと見てしまった。「もしかするとこの介護支援専門員さんは認知症の中核症状と周辺症状(BPSD)の違いを解らずに普段仕事をしているのだろうか」、「暴力行為を問題行動としているのだろうか」などの疑問が頭を駆け巡り、しばらくグループ学習に入

り込めなかったような覚えがある。

介護保険改正の基礎となる考え方を示したとされる「2015年の高齢者介護」でも「尊厳を支えるケアの確立」の項目の一つに「新しいケアモデルの確立(認知症ケア)」が上げられており、従来の身体介護中心のケアに加え認知症ケアの確立を求めている。厚生労働省ではこの報告書に先立って、認知症ケアに関する研修の充実のために、認知症介護研究・研修センターを3カ所設置し(仙台、東京、大阪)、認知症介護指導者養成事業を展開、その修了生等による認知症介護実践者研修(基礎研修)、認知症介護実践リーダー研修(専門課程)等の事業を都道府県・指定都市が実施している。その研修では当然「中核症状と周辺症状(BPSD)の違い」や「暴力行為等の行動を問題行動とは呼ばない」ことが学習されており、前述の研修会での介護支援専門員さんは残念ながらこの研修を受講できていなかったか、認知症に関する学習が十分でなかったため、あのような発言になったのだと思う(実践者研修等は札幌市と北海道がそれぞれ年数回開催しているが、研修受講が義務付けされている認知症グループホーム関係者が優先されていたためグループホーム関係者以外の受講の機会が少ないとされている)。

「2015年の高齢者介護」によると要介護認定者の約半数(居宅では約3割)が認知症であるとされ、今後ますます増加するとしている。介護支援専門員としては認知症利用者の理解とケアを再度身に付けることを必要とされているのである。共に学習していきたいと思う。



## 札幌市からの情報提供

### 『北海道若年認知症の人と家族の会』ができました。

昨年の9月24日、北海道在住の若年認知症の人と家族を対象にした会が発足いたしましたのでご案内します。

#### ●若年認知症とは●

65歳未満の認知症をいいます。高齢者と同じく記憶障害や見当識障害が中心の病気ですが、若年ゆえに社会の一線

で活動していた方が多く、発症後の環境変化に伴う本人や家族の葛藤が大きいといわれています。

#### ●北海道若年認知症の人と家族の会●

若年認知症の本人とその家族が中心となり、平成18年9月24日に発足しました。若年認知症の人と家族の方々は、高齢者の場合と異なる様々な問題や悩みをかかえています。

この会は若年認知症の人と家族の方々に少しでも安心して生活できるよう情報提供やサポートを行っています。

家族会の良いところは、病状が進んでいく過程を体験してきた多くの〈先輩〉がいることではないでしょうか。それらの体験からの具体的な話によって、今どうすればよいのか、今後、こんなことが起きた時にはどうすればよいのかということを知ることができるでしょう。また、自分たちが今後たどるであろう道筋をある程度知ることができることもあるでしょう。そして、なによりも、お互いが若年認知症の家族をもつという共通の立場で語り合えるということではないかと思えます。

宮永和夫「若年性認知症とは何か」筒井書房 2005

#### ●入会方法●

##### ■個人会員 年会費 2,000円

介護家族、若年認知症の人、サポーターとして関わっていただける方々が対象となります。

##### ■賛助会員 年会費

個人：1口 5,000円 法人等：2口 10,000円以上

郵便振替 口座番号 02730-9-43718  
 加入者名 北海道若年認知症の人と家族の会

#### ●つどいの開催●

自分たちの経験や気持ちを語り合う、この会の原点ともいえる活動です。2ヶ月に1度、定期的で開催しています。会

にはサポーターとして医療福祉関係者も参加し、必要に応じてご相談に応じています。

#### ●会報の発行●

2ヶ月に1度会報を発行しています。会の活動内容や若年性認

知症に関する情報などを会員の皆さんにお知らせしています。

#### ●交流サロン●

毎週木曜日10:00～15:00に、かでる2・7のボランティアルームで相談や交流、その他会の活動をおこなっています。

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでる2・7 2F  
 ボランティアルーム 電話 090-8270-2010

#### ●その他●

その他、会では相談のしおりの作成、関係団体との協力などを行っています。また家族やご本人が楽しんで交流できるイベントも企画する予定です。入会された会員の皆様

とともに活動の内容を考えていきたいと思っておりますので、どうぞご意見をお寄せください。

#### 主な関係機関

##### 【北海道認知症の人を支える家族の会】

電話&FAX 011-204-6006  
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでる2・7 4階

##### 【札幌認知症の人と家族の会】

電話&FAX 011-281-2969(火・水曜日10時～15時)  
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでる2・7 2階

##### 【社団法人 認知症の人と家族の会】

電話 075-811-8195 FAX 075-811-8188  
 〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下ル京都社会福祉会館内  
 ホームページ <http://www.alzheimer.or.jp>

##### 【彩星の会・若年認知症家族会】

電話 03-5345-6422 FAX 03-5345-6423  
 〒164-0001 東京都中野区中野5-68-8-1110 NPO-NET内  
 ホームページ <http://www.star2003.jp/top.htm>

##### 【北海道社会福祉協議会】

電話 011-241-3976  
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでる2・7 3階  
 ホームページ <http://www.doshakyo.or.jp>

##### 【北海道立精神保健福祉センター(札幌市以外にお住まいの方)】

電話 011-864-7121  
 〒003-0027 札幌市白石区本通16丁目北6-34

##### 【北海道高齢者総合相談センター】

電話 011-251-2525  
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでる2・7 2階  
 医療相談：祝祭日を除く第1・第3水曜日 午後1時～午後4時  
 認知症介護に関する相談：祝祭日を除く月～金曜日 午前9時～午後5時  
 ※各市町村の保健福祉高齢者相談、地域包括支援センター、介護予防センターは各自治体にお問い合わせ下さい。

#### お問い合わせ 北海道若年認知症の人と家族の会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでる2・7 4階 北海道認知症の人を支える家族の会事務所内  
 電話 090-8270-2010(木曜日のみ) FAX 011-204-6006



## 会員アンケート結果の概要

### 1 アンケートの概要について

#### (1) アンケートの目的

札幌市介護支援専門員連絡協議会の会員数が年々増加し、現在では1,100名を超える大きな組織へと発展してきており、また、介護支援専門員を取り巻く環境が大きく変化してきている中、会員の意向を把握し、今後の活動の参考にすることを目的に実施。

#### (2) 実施時期

平成18年10月2日から11月17日まで

#### (3) 回収状況

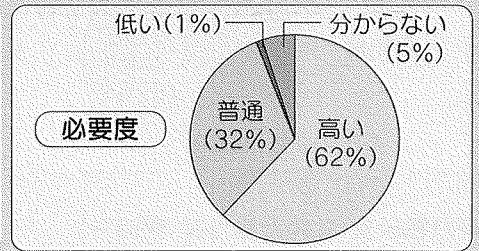
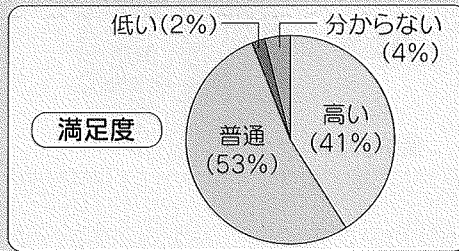
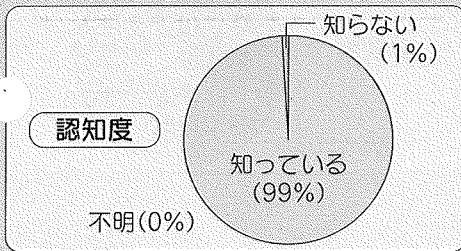
会員1,154名に配布し、304票の回答(回答率26.3%)

### 2 本会活動内容(本部)について

#### (1) ケアマネSAPPORO

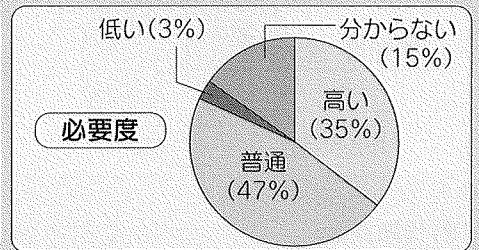
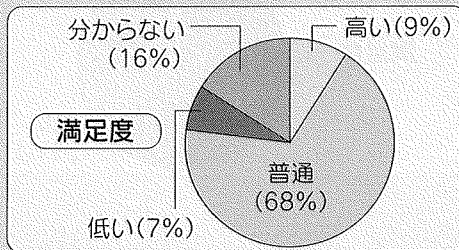
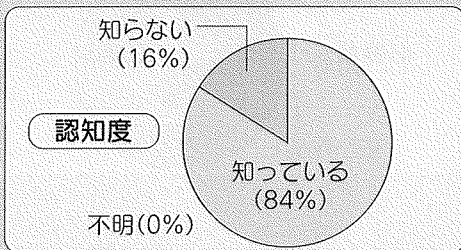
ほとんどの会員(99%)に知られており、満足度は普通(53%)が多いが、高い(41%)も多くなっており、必要度も高い(62%)という状況である。

他の事業と比較しても認知度、満足度、必要度の全てが高い数値となっている。



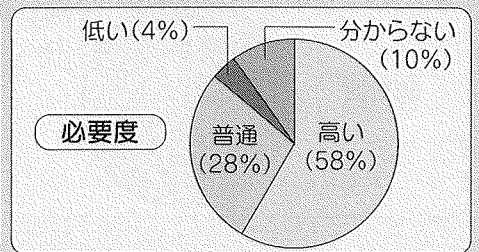
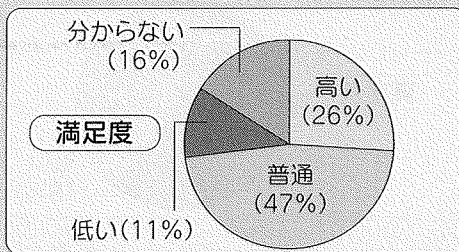
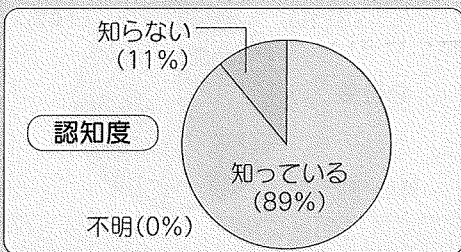
#### (2) 市民ケアマネフォーラム

多くの会員(84%)に知られているが、満足度は普通(68%)が多くなっている。必要度も普通(47%)が多いが、高いという回答も35%ある。



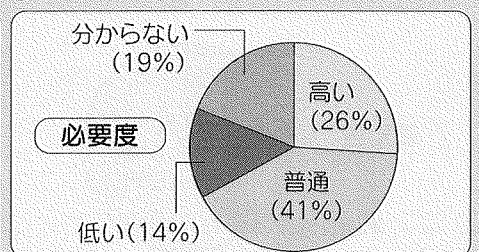
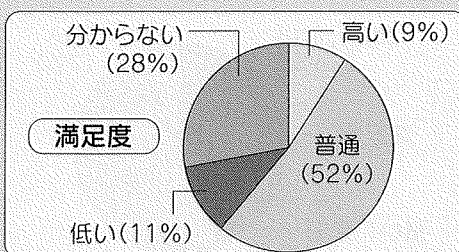
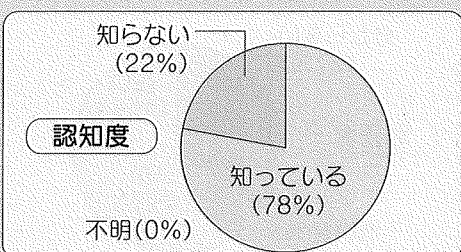
#### (3) ケアプラン指導研修

多くの会員(89%)に知られているが、満足度は普通(47%)が多くなっている。ただし、必要度は高い(58%)が多くなっている。



#### (4) ケアマネ受験対策講座

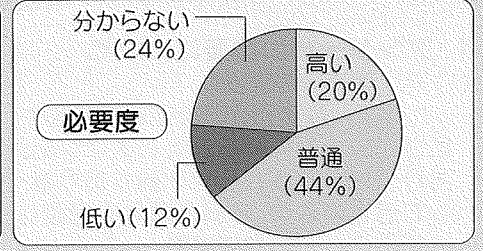
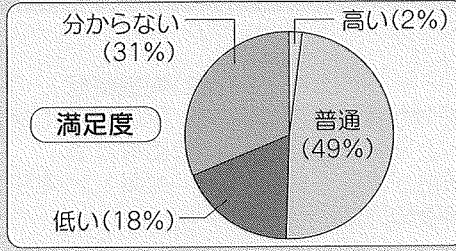
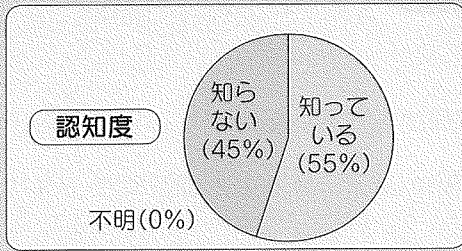
多くの会員(78%)に知られているが、満足度(52%)も必要度(41%)も普通が多くなっている。





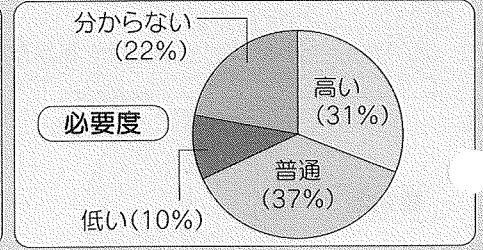
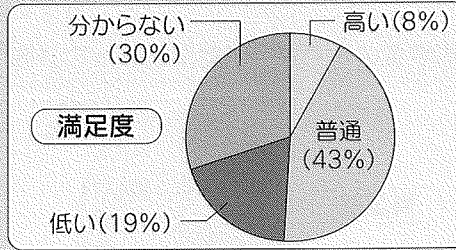
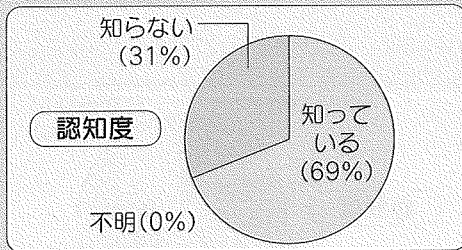
(5) 調査・研究助成

認知度は知っている(55%)と知らない(45%)がほぼ半々である。満足度(49%)も必要度(44%)も普通が高くなっている。



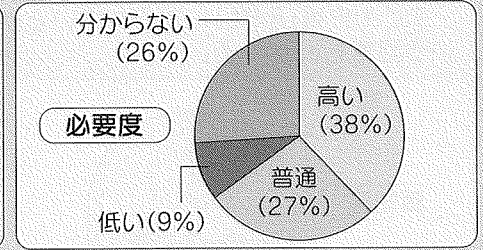
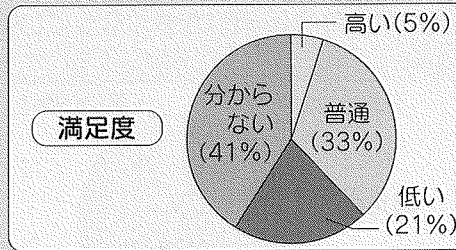
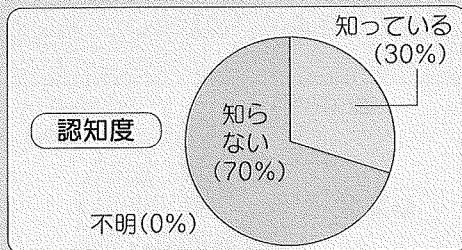
(6) Eメール相談

約7割の会員(69%)が知っているが、満足度は普通(43%)が多くなっている。必要度も普通(37%)が多いが、高いという回答も31%ある。



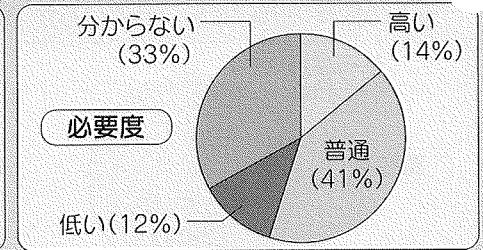
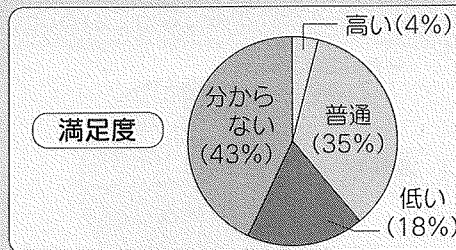
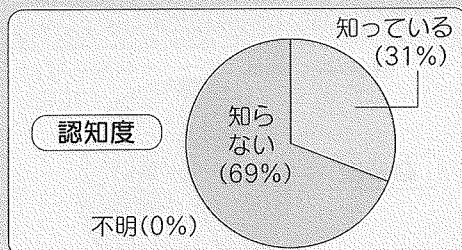
(7) 懇談会(札幌市担当課・医師会)

7割の会員が知らないとなっている。満足度は分からない(41%)が多くなっているが、普通(33%)、低い(21%)も高い数値となっている。必要度は高い(38%)が多くなっている。



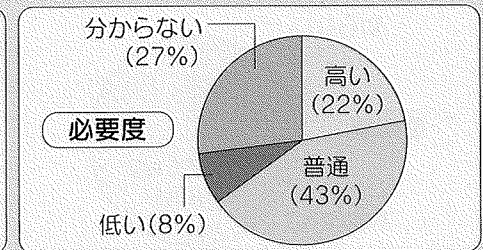
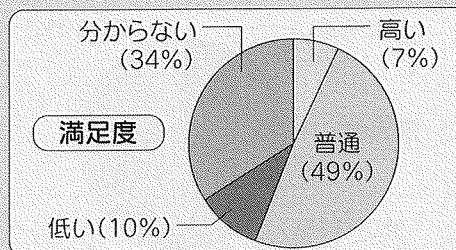
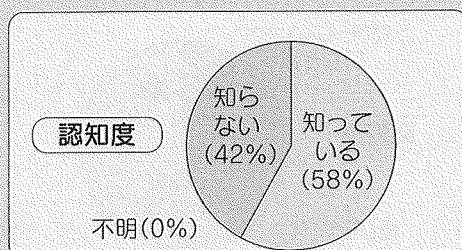
(8) 代議員会

約7割が知らない(69%)となっている。分からないという回答が満足度(43%)も必要度(33%)も多くなっているが、評価としては普通(満足度35%、必要度41%)が多くなっている。



(9) 役員会・事務局運営

認知度は知っている(58%)と知らない(42%)がほぼ半々である。満足度(49%)も必要度(43%)も普通が多くなっている。分からない(満足度34%、必要度27%)という回答も多くなっている。



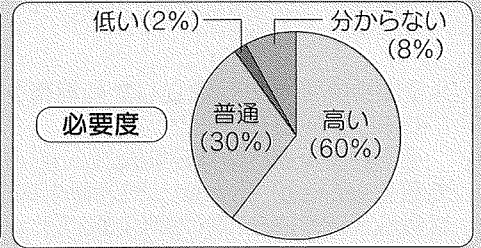
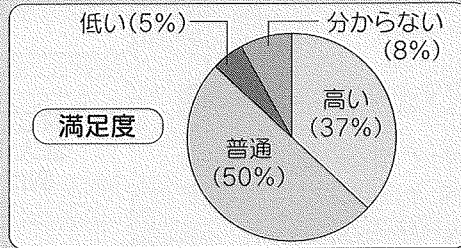
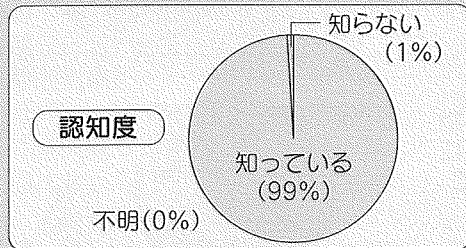


### 3 本会活動内容(区支部)について

#### (1) 定例会(研修会)

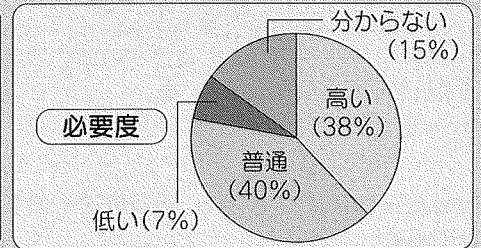
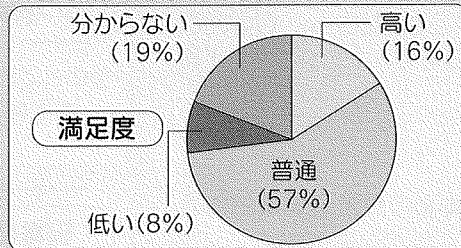
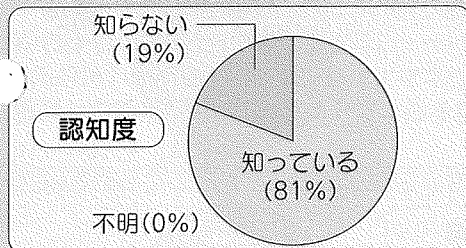
ほとんどの会員(99%)に知られており、満足度は普通(50%)が多いが、高い(37%)も多くなっており、必要度も高い(60%)という状況である。

他の事業と比較しても認知度、満足度、必要度の全てが高い数値となっている。



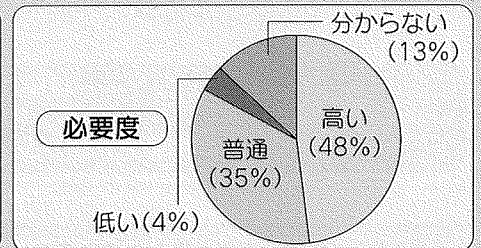
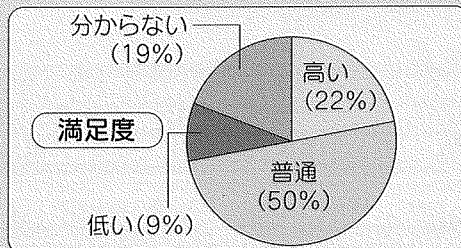
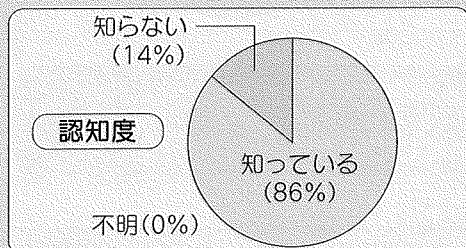
#### (2) 区民向けフォーラム

多くの会員(81%)に知られているが、満足度は普通(57%)が多くなっている。必要度も普通(40%)が多いが、高いという回答も38%ある。



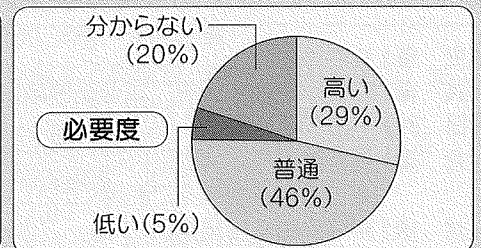
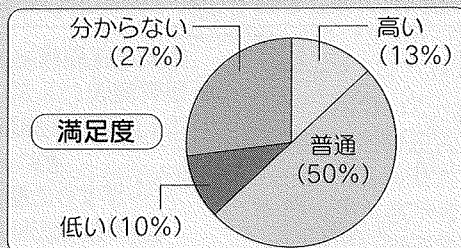
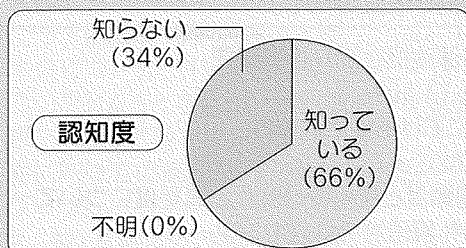
#### (3) 区ケアプラン指導研修

多くの会員(86%)に知られているが、満足度は普通(50%)が多くなっている。ただし、必要度は高い(48%)が多くなっており、市ケアプラン指導研修と同じ傾向となっている。



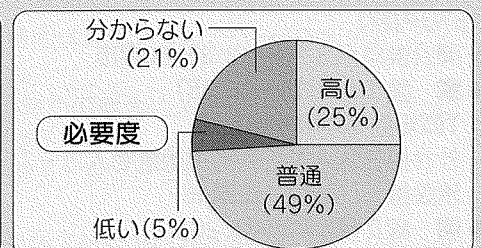
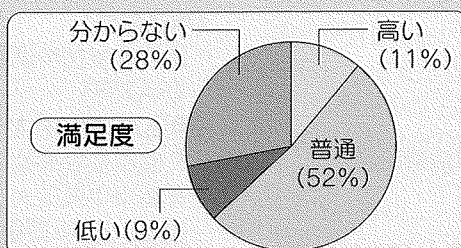
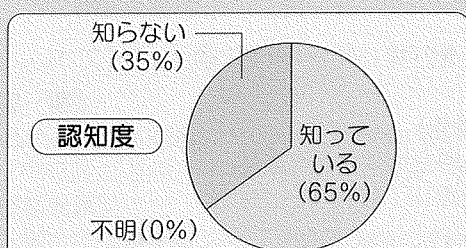
#### (4) 区支部会報誌

3分の2の会員(66%)に知られているが、満足度(50%)も必要度(46%)も普通が多くなっている。



#### (5) 役員会・事務局運営

約3分の2の会員(65%)に知られているが、満足度(52%)も必要度(49%)も普通が多くなっている。

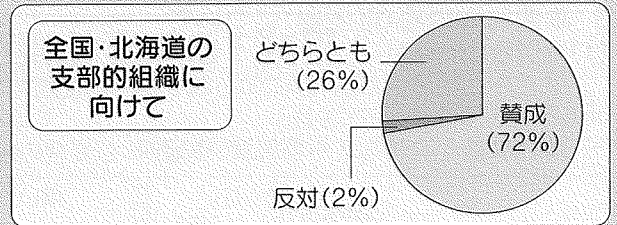




#### 4 組織等の意向

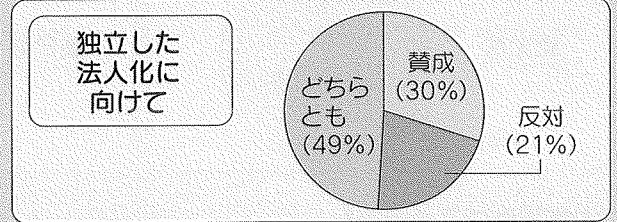
##### (1) 全国や北海道と連携を強く持つ支部的組織に向けて検討すること

全国や北海道の支部的組織に向けての検討は、7割以上が賛成(72%)であり、どちらとも言えないが26%あるが、反対は2%のみである。



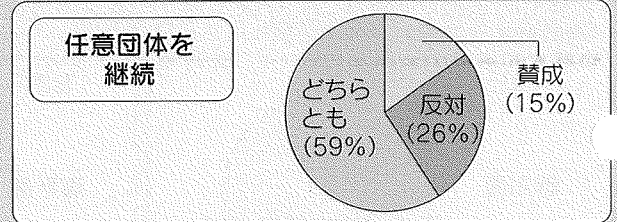
##### (2) 全国や北海道とは独立した札幌市ケアマネ協会として法人化に向けて検討すること

全国や北海道とは独立した法人化に向けての検討は、どちらとも言えない(49%)という回答が半数近くを占め、残りの半数では賛成(30%)が反対(21%)を上回っている状況である。



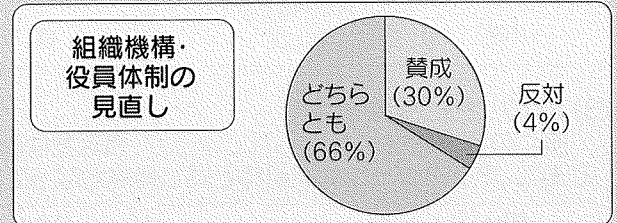
##### (3) 法人化(職能団体)はせず、現状のような任意団体を継続すること

現状の任意団体を継続することについては、どちらとも言えない(59%)が半数以上を占め、残りの回答では、反対(26%)が賛成(15%)を上回っている。



##### (4) 法人化は別にしても、組織機構や役員体制の見直しを検討すること

組織機構や役員体制の見直し(法人化は別)については、3分の2がどちらとも言えない(66%)としているが、残りの回答ではほとんどが賛成(30%)である。



会員アンケート結果の詳細につきましては、札幌市社会福祉協議会のホームページ (<http://www.sapporo-shakyo.or.jp>)の「地域ケアセンター・札幌市介護支援専門員連絡協議会」に掲載しています。

## 平成18年度 札幌市ケアプラン指導研修会(第2回)

介護支援専門員がケアプランを作成する際に、アセスメントをより重視し、ケアマネジメント技術の向上を図ることを目的として開催いたします。

- 《主催》札幌市
- 《共催》札幌市介護支援専門員連絡協議会
- 《日時》平成19年2月27日(火) 13:30~17:30
- 《会場》道新ホール(札幌市中央区大通西3丁目)  
※公共交通機関をご利用ください。
- 《対象》居宅介護支援事業所、グループホーム、介護保険施設に勤務する介護支援専門員及び地域包括支援センターに勤務する職員
- 《定員》700名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)
- 《研修内容》
  - 開会挨拶(13:30~13:35)札幌市
  - 講義Ⅰ(13:35~15:05)  
「認知症を理解する」  
社会福祉法人栄和会特別養護老人ホーム厚別栄和荘  
施設長 瀬戸 雅嗣氏
  - 講義Ⅱ(15:20~16:20)  
「ケアプランと介護保険サービスについて」

- 札幌市保健福祉局保健福祉部介護保険課
- 研究発表(16:30~17:30)
  - ①「介護保険制度における住宅改修は  
どれ位役立っているのだろうか?  
~手すりの使用頻度と使用後の変化と満足度について~」  
医療法人徳洲会札幌徳洲会介護センター
  - ②「ケアマネジメントにおける  
インフォーマルサービスの活用のある方を理解する」  
NPO法人 夢紡ぎ・くら
- 《申込方法》  
別添の参加申込書を2月21日(水)までに送付してください。  
(FAX可)
- 《申込み・問い合わせ先》  
札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部  
札幌市中央区大通西19丁目1-1  
担当: 庄中・岡田  
☎(011)612-6110 FAX(011)613-5486



## 平成18年度札幌市介護支援専門員新任研修会

《主催》札幌市  
 《共催》札幌市介護支援専門員連絡協議会  
 《会場》札幌市社会福祉総合センター 大研修室及び視聴覚室  
 《開催日時》平成19年3月14日(水) 9:30～17:30

《参加対象》

- ①平成18年度介護支援専門員実務研修修了者(予定者)
- ②新たにケアマネジャー業務に就く方
- ③【居宅系】ケアマネジャー実務がおおよそ1年未満の方  
 【施設系】 // がおおよそ3年未満の方

《定員》【居宅系】200名 【施設系】60名

《参加費用》無 料

《研修目的》

【居宅系】新任者が実務を開始し、ケアマネとしての基本姿勢や基本的実務の習得を目的とし、新任者としての諸課題を初期のうちに解決できるようにする。

【施設系】滞在型施設におけるケアマネジメントのあり方や他職種との連携を学び、施設ケアマネ像を獲得する。

《プログラム》【居宅系】

時間帯	研修テーマと形態(講師)
9:30～11:00	【講義】『ケアマネの役割・期待と基本業務』 【講師】札幌市保健福祉局介護保険課 介護予防担当係長 鈴木 眞弓氏
11:00～14:30	【講義・演習】 『ケアマネジメント過程における留意点とその方法』 (途中昼食・休憩) 【講師】北海道総合在宅ケア事業団 訪問看護部主幹 土井 正子氏
14:30～16:00	【講義・演習】 『給付管理の実際と認定情報の基本』 【講師】国保連

16:00～17:30	【講義】『新予防給付と各種制度活用』 【講師】中央区第2地域包括支援センター センター長 道林 松美氏
17:30	終了

【施設系】

時間帯	研修テーマと形態(講師)
9:30～11:00	【講義】『ケアマネの役割・期待と基本業務』 【講師】札幌市保健福祉局介護保険課 介護予防担当係長 鈴木 眞弓氏
11:00～14:30	【講義・演習】 『ケアマネジメント過程における留意点とその方法』 (途中昼食・休憩) 【講師】北海道総合在宅ケア事業団 訪問看護部主幹 土井 正子氏
14:30～15:45	【講義】『制度改正・報酬改定に伴う諸課題』 【講師】社会福祉法人札幌光陽会みどりの丘 施設長 福島 義典氏
15:45～17:30	【講義・演習】 『当事者参画と他職種協同のケアプラン策定』 【講師】医療法人はるにれ 在宅支援部部长 吉谷 敬氏
17:30	終了

《申し込み先》

札幌市介護支援専門員連絡協議会事務局  
 (札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部自立支援課内)  
 札幌市中央区大通西19丁目 札幌市社会福祉総合センター2階  
 ☎(011)612-6110 FAX(011)613-5486  
 担当：庄中、岡田

《その他》昼食は各自でご用意ください。  
 会場へは公共交通機関をご利用ください。

## 「福祉用具講演会・展示会」開催要綱

《目的》

高齢社会を迎え、市民の福祉に対する関心はますます高まっており、高齢の方や障がいのある方の生活を支える福祉用具に対する知識や理解を深める機会が求められています。そこで、本会では、市民や福祉関係者の福祉用具に関する理解を深めていただくことを目的に標記講演会を開催します。また、福祉用具を展示する展示会についても併せて開催し、春に向けての商品や、新製品等を用意して、気軽な参加を呼びかける。

《主催》札幌市社会福祉協議会

《日時》平成19年3月8日(木)

13:00	13:30	15:00	16:00
講演会受付	講演会		
福祉用具展示会			

《会場》

札幌市社会福祉総合センター 大研修室(4階)及びアトリウム(1階)  
 [中央区大通西19丁目 地下鉄東西線 西18丁目駅下車]

《参加対象》

一般市民、介護保険サービス事業所、福祉のまち推進センター関係者  
 民生委員児童委員、老人クラブ関係者、ボランティア団体等

《定員》200名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

《参加費》無 料

《内容》

- 講演(13:30～15:00)4階 大研修室  
 テーマ「目でみて体験する高齢者・障がいのある人の介護について～わかりやすい床ずれのはなし～」  
 講師 医療法人社団 廣仁会 褥瘡・創傷治癒研究所 所長  
 北海道大学名誉教授 大浦 武彦 先生
- 福祉用具展示会(13:00～16:00) 1階 アトリウム  
 福祉用具関連企業連絡会による福祉用具の展示

《申込方法》

2月23日(金)までに電話(氏名、住所、電話番号)でお申し込みください。また、各団体につきましては、申込用紙をFAXにて送付してください。  
 なお、展示会のみ参加の場合は、申込みは必要ありません。

《申込み・問い合わせ先》

札幌市社会福祉協議会 自立支援課 【担当:大井戸】  
 〒060-0042

札幌市中央区大通西19丁目札幌市社会福祉総合センター2階  
 ☎(011)632-7355 FAX(011)613-5486

# 掲示板コーナー

日時末尾に《※》が付いている定例会は、他区支部の会員も参加できますので、ご確認のうえ、ご参加下さい。

## ● 中央区支部定例会

日時▶2月14日(水)18時30分～《※》  
会場▶札幌市医師会館5階大ホール  
テーマ▶「札幌市における介護予防事業の取り組みと今後の課題」  
講師▶札幌市介護保険課介護予防担当係長 鈴木 真弓 氏  
問い合わせ先▶中央区社会福祉協議会  
☎231-2400

## ● 北区支部定例会

日時▶2月14日(水)18時30分～《※》  
会場▶北区民センター  
テーマ▶「高齢者の消費者被害を防ぐために」  
講師▶札幌市消費者協会相談課主任 鹿野 良子 氏  
問い合わせ先▶北区社会福祉協議会  
☎757-2482

## ● 東区支部定例会

日時▶3月14日(水)18時30分～《※》  
会場▶東区民センター  
テーマ▶「施設ケアマネに求められる期待と責任を考える  
～相談員や他職種との関係論の視点から～」  
講師▶社会福祉法人ほくろ福祉協会総合施設長 松本 剛一 氏  
問い合わせ先▶東区社会福祉協議会  
☎741-6440

## ● 白石区支部定例会

日時▶3月14日(水)18時30分～《※》  
会場▶白石区民センター  
内容▶未定  
テーマ▶未定  
問い合わせ先▶白石区社会福祉協議会  
☎861-3700

## ● 厚別区支部定例会

日時▶3月13日(火)18時30分～《※》  
会場▶厚別区民センター  
テーマ▶「認知症について(仮)」  
講師▶未定  
問い合わせ先▶厚別区社会福祉協議会  
☎895-2483

## ● 豊平区支部定例会

日時▶①2月16日(金)18時30分～《※》  
②3月14日(水)18時30分～《※》  
会場▶豊平区民センター  
テーマ▶「人をささえること～その人がその人らしく生きる～」  
講師▶北広島リハビリセンター特養部四恩園施設長 三瓶 徹 氏  
問い合わせ先▶豊平区社会福祉協議会  
☎815-2940

## ● 清田区支部定例会

日時▶3月9日(金)18時30分～《※》  
会場▶清田区総合庁舎  
内容▶交流会  
テーマ▶未定  
問い合わせ先▶清田区社会福祉協議会  
☎889-2491

## ● 南区支部定例会

日時▶3月13日(火)18時30分～《※》  
会場▶南区民センター  
内容▶市民向けイベントと共催  
テーマ▶「悪徳商法について」  
講師▶札幌青年司法書士会 司法書士 番井 菊世 氏  
問い合わせ先▶南区社会福祉協議会  
☎582-2415

## ● 西区支部定例会

日時▶3月20日(火)18時30分～《※》  
会場▶西区民センター  
内容▶「介護支援専門員資格の更新について」  
「地域包括支援センターからの活動報告等(仮)」  
講師▶北海道保健福祉部福祉局介護保険課  
今川 洋子 氏 他  
問い合わせ先▶西区社会福祉協議会  
☎641-2400

## ● 手稲区支部定例会

日時▶3月13日(火)18時30分～《※》  
会場▶手稲区民センター  
テーマ▶「訪問リハビリの活用の仕方について」  
問い合わせ先▶手稲区社会福祉協議会  
☎681-2400

## 「ケアマネメール相談室」ご利用下さい!!

介護支援専門員として働いていて、適正な給付管理や介護報酬の解釈などで、ふと疑問に思うこと、介護支援専門員の仕事はしていないけどケアマネシメントのことで聞いてみたいことなどEメールで気軽に相談できるよう、本会会員のための相談室を2005年9月から開設していますので、ご利用下さい。

相談を希望する方は、氏名、所属、会員番号を明記の上、相談内容を簡潔にまとめ、Eメールして下さい。

Eメールアドレスは、

「caremanager@sapporo-shakyo.or.jp」

です。お気軽にご相談下さい。